

鵜戸神宮：うさぎの像

鵜戸神宮の境内には、うさぎの像が点在しており、ご祭神様たちの神使だと信じられています。この伝説の起源は完全には明らかではありませんが、神社の主祭神であるウガヤフキアエズとうさぎとの関係がしばしば引き合いに出されます。ウガヤフキアエズの最初の「ウ」は、うさぎを表す日本語でもあります。地元の伝説では、神社の周りの森に棲んでいるたくさんのうさぎの話が出てきますが、現在では一羽も見ることができません。日本の旧暦の卯月の初日には、神社で例祭が開かれ、飲食物や子供向けのゲームの屋台が並び、剣道や弓道のトーナメントが実施されます。